事例No.	1401
公表年度	R3
団体の属性	町村
団体名	滋賀県日野町

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・地域運営組織 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

里山林の整備や森林境界明確化の推進

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

滋賀県　日野町（里山林の整備や森林境界明確化の推進）

- 日野町の森林は町の面積の多くを森林が占めている。また、森林所有者の高齢化が進み、間伐等による山林の管理が十分に行えていない状況にある。放置された里山林に起因した、集落の環境悪化や道路への倒木被害の発生、鳥獣による被害の拡大などを防止するために、森林環境譲与税を活用した里山林の伐採や森林境界明確化事業の作業を進め、里山林の環境整備につなげることとしている。
- 令和２年度においても、令和元年度と同様、里山林の伐採と森林境界明確化を森林組合への事業委託により実施したことで、防災対策とあわせて森林の有する多面的機能の発揮につながった。
- 令和３年度においても、引き続き里山林の整備と境界明確化を進めていくこととしている。

□ 事業内容

1　里山防災・緩衝帯整備事業

- 自然災害(台風・豪雨等)に伴う道路やインフラ施設等への被害予防や、鳥獣被害を防ぐため、整備されていない里山林の立木等の伐採及び整備を実施

【事　業　費】3,985千円（うち譲与税1,990千円）

【実　　績】5.7ha

2　森林境界明確化事業

- 森林の境界を現地で調査し、境界明確化するため、森林所有者との立ち合いや杭打ちを行い、施業区域の測量を実施

【事　業　費】847千円（全額譲与税）

【実　　績】 20ha



（事業１：里山林での伐採の様子）



（事業２：境界明確化の調査の様子）

□ 事業スキーム

1　里山防災・緩衝帯整備事業



2　森林境界明確化事業



□ 工夫・留意した点

- 区長会にて事業説明するなど、広く周知した。
- 自治会で所有者から承諾を取り付けることで、地域で森林を管理する意識付けをした。

◇ 基礎データ

①令和２年度譲与額	7,442千円
②私有林人工林面積（※１）	1,566ha
③林野率（※２）	52%
④人口（※３）	21,873人
⑤林業就業者数（※３）	18人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より